



日本赤十字社  
Japanese Red Cross Society

# 秋田赤十字乳児院

平成24年11月1日 発行

## 理念

私たちは、人道・博愛の赤十字精神のもとに、子どもたちの最善の利益を守り、健やかな成長を図ることのできる愛情のこもった保育看護を提供します。

広報誌 第27号

# よちよちちゃん



平成24年度

第47回東北・北海道ブロック乳児院研究協議会 in 秋田

10月4日・5日の2日間、協議会が開催されました。秋田市にぎわい交流館を会場に乳児院12施設57名が参加。今年、当番県として秋田方式を採用。メインテーマは『養育を語る』。第一分科会は議題討議・情報交換。第二分科会はディスカッション。第三分科会はロールプレイ。日々の養育を見つめ直すとともに、子どもの最善の利益という共通目標を持ち意見を交わしました。



### 第2分科会 <事例検討>

安心できる家族再統合にむけて大いにディスカッションしました。



### 第3分科会 <ロールプレイ>

おもちゃの取り合いなど実際の場面を想定し、保育者役と子ども役になってどんな言葉かけられると、どんな気持ちになるのかを体験しました。

心の架け橋を築くコミュニケーションは、「私は…」から始まる私メッセージが大事です。



### 分科会第2部 <情報交換会>

秋田の味“THE きりたんぼ鍋”を堪能しながら情報交換です。

講演

「ケースカンファレンスの進め方」

秋田大学 教授 柴田 健先生



ジェノグラム(家族の構造図)の作成と読み方、多様な考え方の重要性についてグループワークを織り交ぜながら講演されました。今までは、意見を一つにして対応を考えていくことがカンファレンスのあり方と思っていました。先生は、「事例に正しい見方は存在しない。様々な見方が出来てその一つ一つを検証していくことである。」など、いつでもすぐできるカンファレンスの方法をお話しされました。

このことから、「自分の意見を持つこと」「いろいろな見方を共有すること」「自由にディスカッションすること」が大切であると学びました。

秋田から



若松乳児院へ  
バトンタッチ!!!

次期開催地福島県へ

## ひよこ組

初めての離乳食は、おかゆ1サジからスタート！おかゆを一口入ると、よだれとともに3～4倍になって戻ってきます。ゴクンがなかなか出来ず、時間がかかることも…。離乳食初期が6名、中期が2名。毎日、猫の手も借りたいほどの離乳食タイムです。(水澤)



ラックは、もう満席です><

## ぼんだ組

「そ〜っとだよ。」とドキドキしながら手にしたトンボ。羽が動くと思わず手を放してしまい「あーあ、お家に帰っちゃったね。」とがっかり。今はしっかりと持てるようになりました。トンボにとっては迷惑な話ですが、小さなフェアブルの誕生です。(進藤)



優しくつかんでね。by とんぼ



## ぼんび組

ただ今、トイレトレーニング中の子どもたち。お気に入りのスリッパをお友だちが使っていると「次、貸してね!」と順番待ち。スリッパをゲットしてトイレにGO! おしっこが出るとニコリ得意な表情を見せてくれます。

紙パンツから布パンツになれるように頑張っています! (石井)



おしっこ出たよ!

## ことい組

Rくんが養護施設に措置変更になりました。退所に向けて新しい施設に遊びに行ったり、手作り絵本を見たりして、心の準備をしました。

絵本は、新しい先生とお友達が待っていてくれる事、困った時には「まこと先生にお話しすると助けてくれる」ことを写真とイラスト入りで描いています。(福田)



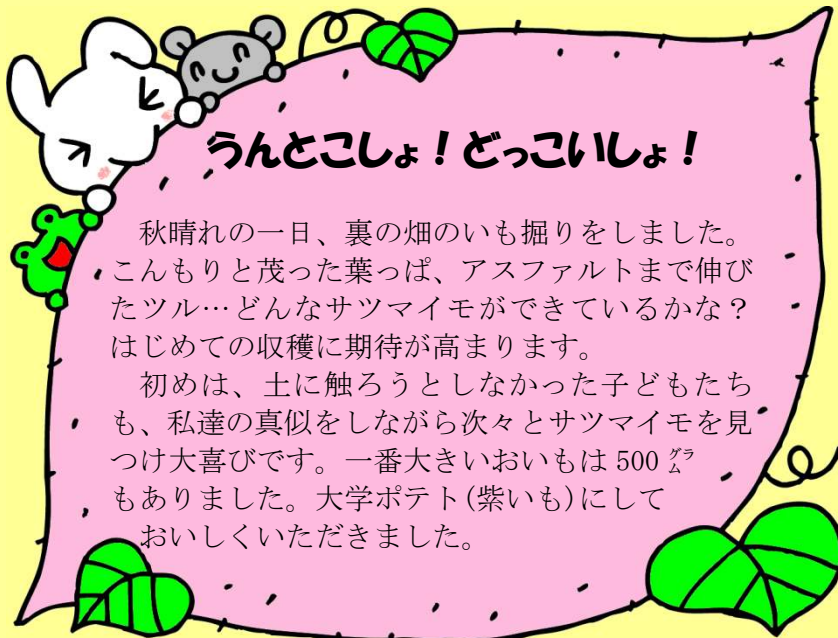
Rくん頑張ってね♡

## 盲学校の訪問支援

月に2回、盲学校から先生がやってきます。大きなカゴにきれいな色の楽しそうなおもちゃがいっぱい入っています。

視覚に障害のあるAくんが、実際生活している場所を、感覚的に捉えるようにすることが訪問支援の中心となります。また、視力以外の目の機能（追視、色覚、視野など）の素地をつくるために、体験的に覚えていくことが重要と教えていただきました。

少ない視力でも、物を捉えやすいように輪郭線が際立つように黒のマットに黄色のキーボードを置くなどコントラストの工夫がされています。



秋晴れの日、裏の畑のいも掘りをしました。こんもりと茂った葉っぱ、アスファルトまで伸びたツル…どんなサツマイモができているかな? はじめての収穫に期待が高まります。

初めは、土に触ろうとしなかった子どもたちも、私達の真似をしながら次々とサツマイモを見つけ大喜びです。一番大きいおいもは500gもありました。大学ポテト(紫いも)にしておいしくいただきました。

ほら、見て!  
いっぱいあるよ!



なんとかサツマイモを引っっこ抜こうと手を伸ばす子どもたち

## + もっとクロス

日本赤十字社

### おめでとう!!

#### 秋田赤十字病院 卓球部 全国3位

10月13~14日、全国赤十字病院スポーツ大会に於いて2年連続3位獲得。「全国の強豪チームの中で男女のバランスの良さが勝ちに繋がった」と監督の佐々木さん(医事第一課)は話されました。



### 編集後記

朝晩の涼しい風に秋を感じる毎日。私は胃袋でいち早く秋を満喫しています。葡萄に梨、キノコご飯にサンマの塩焼き…そして、サツマイモ!

今年、乳児院の畑からはサツマイモがたくさん収穫されました。あたたかいお茶と一緒に焼きイモを食べるのが、秋のお楽しみのひとつです。実りの秋、私の食欲はまだまだ止まらなそうです。(赤次)

■編集・発行 秋田赤十字乳児院  
〒010-0041 秋田市広面字釣瓶町 100-3  
TEL 018-884-1760 FAX 018-884-1762  
電話相談 018-884-1761  
URL <http://www.akita.jrc.or.jp/nyujiin/>